

岩屋中だより

令和7年6月10日 NO7

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

長谷部 誠さん『心を整える』から学ぶ

(5号の続き)

- 1 意識して心を鎮める(しずめる)時間を作る。
- 2 決戦のスイッチは直前に入れる。
- 3 整理整頓は心の掃除に通じる。
- 4 過度な自意識は必要ない。
- 5 マイナス発言は自分を後退させる。
- 6 恨み貯金はしない。
- 7 好きなものに心を委ねる。
- 8 先輩に学ぶ
- 9 苦しいことには真っ向から立ち向かう。
- 10 仲間の価値観に飛び込んでみる。
- 11 群れない。
- 12 組織の穴を埋める。
- 13 監督の言葉にしない意図・行間を読む。
- 14 競争は自分の栄養になる。
- 15 常に正々堂々と勝負する。
- 16 運とは口説く(くどく)もの。
- 17 注意は後腐れなく。
- 18 偏見は持たずまず好きになってみる。
- 19 勇気を持って進言すべき時もある。
- 20 読書は自分の考えを進化させてくれる。
- 21 読書ノートをつける。
- 22 遅刻が努力を無駄にする。
- 23 ネットバカではいけない。
- 24 勝負所を決める。
- 25 他人の失敗を、自分の教訓にする。
- 26 楽な方に流されると誰かが傷つく。
- 27 迷ったときこそ、難しい道を選ぶ。
- 28 頑張っている人の姿を目に焼き付ける。
- 29 集団のバランスや空気を整える。
- 30 グループ内の潤滑油になる。
- 31 努力や我慢はひけらかさない。
- 32 自分の名前に誇りをもつ。
- 33 外見は自分だけのものではない。
- 34 感謝は自分の成長につながる。
- 35 笑顔の連鎖を巻き起こす。

長谷部さんの著書の中から、タイトルだけ、中学生の皆さんに知っておいてほしいものを列挙しました。自分の生き方に反映できそうな項目はどれでしょうか？まずは、図書室に行ってみて、本を探してみましょう。本校の図書室になかったとしても、市立図書館などにはおいてあるのではないのでしょうか。この35のうち、どれを活かせそうですか？つぎに紹介するのは、明治時代に活躍した、福沢諭吉の言葉を紹介します。

福 沢 諭 吉 訓

世の中で一番楽しく立派なことは一生涯を貫く仕事を持つことである。

世の中で一番みじめなことは教養のないことである。

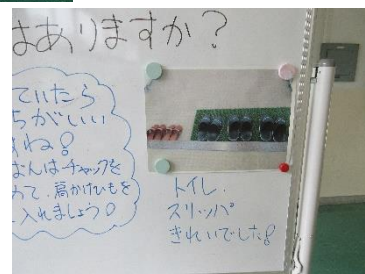
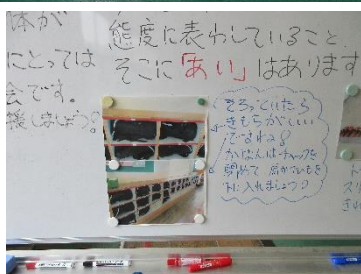
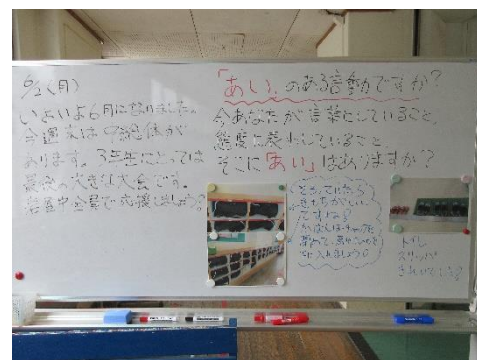
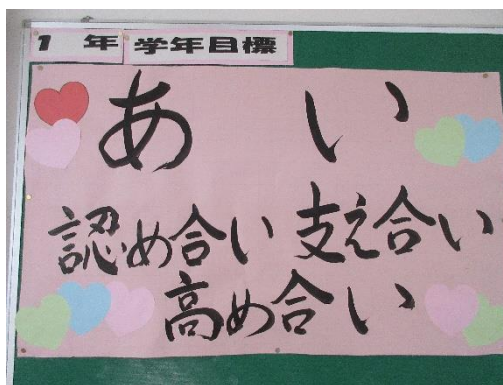
世の中で一番寂しいことは仕事の無いことである。

世の中で一番醜いことは他人の生活を羨むことである。

世の中で一番尊いことは人のために奉仕して決して恩に着せぬことである。

世の中で一番美しいことは全てのものに愛情を持つことである。

世の中で一番悲しいことはうそをつくことである。



『花を咲かせる』『あい』など道しるべとなる目標が掲示されています。中総体において、図書ボランティアの方から作っていただいた掲示物も、有難いものです。校内にもたくさんある道しるべ。大切に見たいものです。感謝、感謝……。